



***** 委員長挨拶 *****

和田 忠彦

20年にわたり運営の要を担ってこられた高橋幹事が、事務局の任を降りられ早くも3年目を迎えます。その間、中村前委員長を中心に運営体制の整備を図りながら、各委員は自己の責務を自覚し、担務間の連携・協力を密にしながら、自主的・主体的に最大限の努力を重ねてまいりましたが、運営体制の整備は未だ途上にあります。従って、この度、委員長をお受けしたものの、正直のところその重責を担えるものか甚だ不安であります。



しかし、新委員を加え素晴らしいスタッフが力を結集して任に当たると共に、会員皆様のご支援ご協力のあることを信じ、微力ではありますがお役にたてればと、決意した次第であります。

私達は、共にテニスを愛し、テニスを通じて何時までも健康で豊かな老後の人生を求めています。高齢者が、健康で過ごすことは、取りも直さず、我が身のみでなく家族の幸せ強いては、国・地域社会への貢献に繋がることを再認識し、公的施設の活用に於いても、関係機関のご理解とご支援を、積極的に求めていく必要があるかと愚考致します。

会員皆様が、テニスが原因で健康を損ねたり事故に遭うことのない様願致しますと共に、諸行事運営に当たり、この点を十分配慮して参りたいと考えます。会員皆様のご意見ご要望を切にご期待申上げご挨拶と致します。

◆ 目 次 ◆

委員長挨拶	委員長 和田 忠彦	1	混合ダブルス大会Cクラスに優勝して	
ありがとうございました！前委員長	中村 克宏	2		石橋 りつ子 8
活動報告	競技部		勝ったり負けたりでいい	海野 哲夫 9
年齢別ダブルス大会		2	県南ブロックの交流会について	色摩 浩三 9
混合ダブルス大会		2	県北ブロックの交流会について	菊池 繁夫 10
技量別ダブルス大会		3	新会員特集	
連盟祭り		3	「いきいき」に入会して	斉藤 次郎 11
対いわきVTC親善交流大会		4	楽しいテニスをモットーに！	桜田 世津子 11
Weekday交歓会		5	いきいきテニス連盟に加入して	小谷 昭一 11
第21回 対「いわき」親善交流大会に思う			生き生きデビュー！	庄子 和恵 12
	和田 忠彦	6	平成19年度総会報告	副委員長 奈良 征一郎 12
東北マスターズ福島大会に参加して			平成19年度行事实績・決算・20年度予算	13
	置田 眞樹子	6	平成20年度年間行事予定	15
ねんりんピック2007 茨城に参加して			諸行事の参加申込方法・主要大会要項	事務局 16
	斉藤 昭男	7	連盟規約	事務局 19
3大大会優勝者			平成20年度の運営体制・役員と担当任務	
生涯テニスを目指して	庄司 信雄	7		事務局 20

ラスは3ブロックの1位同士で決勝リーグを行い、CクラスはDクラスの1組も含めて2ブロックに分かれて総当り戦を行い、各ブロック1, 2位による決勝トーナメントにより順位を決定しました。

前記しましたように、蒸し暑い中での厳しい試合でケイレンを起こした人もいましたけれど、大事に至らず幸いでありました。試合が終了したのは4時15分でした。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

技量別ダブルス大会

夜半まで降り続いた雨も上がり、秋晴れの絶好のテニス日和に恵まれた10月20日(土)、64名の参加を得て、七北田公園テニスコート8面を使用して、標記大会が開催されました。

前年までの技量別大会は男女の区別なく、A,B,C,Dの4クラスで行なわれてきましたが、今年は18年度の総会の意見を踏まえて、男女別々にA,Bクラス、フリーのCクラス(男ダブル、女ダブル、混合でも可、Bクラスでは無理だという組)という新しい方式で実施されました。

試合は各クラス総当り戦で、ノーアド、6ゲーム先取制で行なわれました。ただ、男子Aクラスは9組のため2つのブロックに分け、それぞれのブロックの1, 2位による順位決定トーナメント戦が行われました。各クラスとも終日熱戦が繰り広げられました。特に、順位を勝率で決定した男子B、女子A、フリーCクラスは同率となり、合計年齢の差で最終的には順位が決まるという、緊迫したゲームとなりました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



以上3大会の優勝者は優勝者一覧表に示すとおりです。なお、入賞者は、

河北新報と読売新聞に掲載されました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り

平成19年最後の行事である恒例の連盟祭りが11月23日(金)、勤労感謝の日(土)に95名(女子52名、男子43名)の参加を得て、七北田公園テニスコート8面を使用して開催されました。当日は季節はずれの厳しい寒さに見舞われ(仙台で最低気温氷点下0.8度、最高気温5.6度)、

平成19年度三大会優勝者

大会名	種目	優勝組
年齢別W大会 5月26日 七北田公園 コート	女子140歳以上	北野妙子・石垣晴子
	女子130歳以上	目黒祐子・荻原栄子
	女子120歳以上	酒井優子・後藤玉子
	女子110歳以上	美村景子・庄子和恵
	男子140歳以上	海野哲夫・村上 實
	男子130歳以上	但野久雄・菊地 功
	男子120歳以上	佐々木宏昭・庄司信雄
混合W大会 7月28日 シェルコム	Aクラス	佐々木宏昭・布留川三枝子
	Bクラス	加藤精一・大澤弘子
	Cクラス	海野哲夫・石橋りつ子
	Dクラス	佐藤富男・太田せつ子
技量別W大会 10月20日 七北田公園 コート	男子Aクラス	松山眞水・新田英昭
	男子Bクラス	菊地 功・石田哲也
	女子Aクラス	西城啓子・庄子和恵
	女子Bクラス	千葉みちこ・山崎由美子
	フリーCクラス	海野哲夫・梅崎千枝子

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

前日に降った雪がまだコートのあちこちに見られ、直ぐには試合を始められない状態でした。このため、雪かきをしてコートが少し乾くのを待つことにし、結局試合は10時15分に開始されました。朝はどんよりとして寒々とした、今にも雪が降りてきそうでした。

大会は例年の如く、4つのグループの対抗戦で、一つの対抗戦は16試合(男ダブル4、女ダブル6、混合6)、試合は20分間時間制、ノーアド方式で行なわれました。各参加者は3ないし4試合行いました。気温は低いものの、風はあまりなく、時折太陽も顔をのぞかせ、まずまずの状態では試合は支障なく進行し、2時45分には無事全試合が終了しました。

各グループの勝敗を集計し、順位を確定し、賞品授与となりました。賞品は4種類、同等品が参加者全員にもれなく渡るように用意され、試合の勝ち数の多いグループ順に選択するようにしました。大会終了宣言がなされたのは3時少し過ぎで、日が短いとは言えまだまだ明るいので、余力のある人は更にテニスを楽しむため、コートに出ていきました。何はともあれ、厳しい寒さにも拘らず、一人の怪我人も出ず、和気藹々のもとに連盟祭りが無事終了できたことは何よりでした。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※





連盟祭りの参加者（七北田公園庭球場）

対いわきVTC親善交流大会

11月17日(土)、18日(日)の2日間に亘って、いわきベテランテニスクラブ(I VTC)との21回目の親善交流大会が、いわき市のいわき簡保保養センターのテニスコート5面(砂入り人工芝)を会場にして開催されました。

参加者はみやぎいきいき側は男子15名、女子10名の合計25名、いわきVTC側は男子19名、女子15名の合計34名、総計59名でした。

みやぎ側の参加者が少なかったため、いわき側から女子5名の支援を受けての対抗戦となりました。試合は30分の時間制限方式で行なわれ、総ゲーム数は2日間で80ゲーム(男ダブル32、女ダブル32、混合16)で、一人当たりでは5～6

ゲームでした。

初日は風が強い上に寒く、2日目は午前中は暖かかったものの午後は一転して厳しい寒さのなかでの試合となりました。結果は、男ダブル10勝17敗5引き分け、女ダブル7勝18敗7引き分け、混合5勝7敗16引き分け、合計22勝42敗16引き分けと、みやぎ側の大敗に終わりました。年齢的なハンディがあるとは言え、例年の如くにいわき側の強さの目立った大会でありました。特に、いわきVTCの皆さんの技量の高さ、一球一球に対する集中力と粘り、勝負強さには大いに学ぶべき点が多々ありました。

今年のみやぎ側の主催ですので会員皆さんの積極的な参加と奮起を期待しております。



第21回対いわきVTC親善交流大会参加者(いわき簡保保養センター)

Weekday交歓会

会員の皆様、特に参加された皆様のご協力誠にありがとうございました。お陰様で、一人のケガ人もなく無事終了することができました。下記に平成19年度の報告をいたします。

参加人数 1～12月の全実施回数10回、雨天中止2回、延べ参加数409人（除く当日役員各4名）、平均41人で18年の34人から約2割増。会場別では、宮城野原32人・13人（昨年は初コート使用時が43人、他2回の平均25人）。七北田33人・38人・32人、シェルコムせんだい100人（総会も併催）・42人・48人、泉パークタウン49人、南インター22人でした。

〔1〕前年企画からの継続

(1) ワンポイントレッスンの実施

8回実施、18年は6回。施設へ配慮して午後3時からの変更したためか、卒業レベルに達したとしてか、受講者は昨年より5・6人くらい少なく、平均10～15人程度でした。

初・中級のレベルアップの目的は達成できたものとして、委員会で検討の結果20年は取りやめることとなった。

コーチに当たられた日体協公認テニス指導員の青木・佐々木・館内・松山・渡邊・和田の6氏の方々には誠に有り難うございました。

(2) 盛夏の民間クラブ会場の使用

緑陰を求め、また気分転換にもと、今年もパークタウンTCと南インターTCを借用した。パークタウンではコート2面の無料サービスもあった。南インターでも快適な雰囲気に加え、オーナーご夫妻のサービスも最高でした。

本年も継続の方向ですので、未経験の方も、今度はどうぞお試しを！。

(3) 梅雨期のシェルコム会場の設定

参加者は49人、18年は29人。どうぞ皆様、梅雨期に備えての交歓会を是非ご利用ください！。（今年は大会・申込み方式になります）

〔2〕新企画の結果←アンケート結果を踏まえて

(1) 七北田会場の使用

冷暖房のクラブハウス、そこからゲーム全体を見渡せるし、駐車場も十分。会場として申し分なしとして、継続の方向です。

(2) 「技量別時間の設定（午前）」

午前中にコートの技量別時間帯を設定し、同程度の技量の会員同士でテニスを楽しんでもらおうという試みでしたが、結果は、成果あったとは言えず、20年は従来の自由対戦に戻すことになった。今後の検討が必要かと思われます。

(3) ネームプレートの着用

会員相互の交流・親睦の手助けとなっており、今後もその管理方式なども検討しながら進めたいと思いますのでご協力をお願いします。

〔3〕その他

(1) 屋外会場の開始時間

昨年に、参加者・当日役員（特に女性委員）の負担等を考えて、18年に屋外施設の開始時間を従来の午前9時から10時に変更したばかりでしたが、施設へ配慮して、午前9時（男性委員でカバー）に戻したのでした。しかし、少数ながら意欲的な主に男性会員に準備手伝いもしてもらいながら楽しんで頂いたものの、今年やはり18年の考え方を大事にして、10時開始に再度戻すことにしたいと思います。

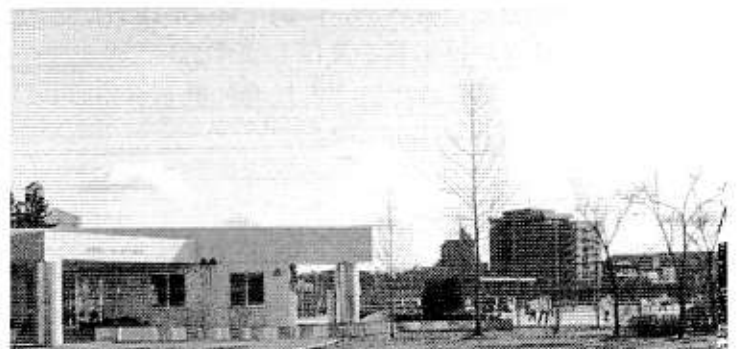
(2) 実施中止の決定時の反省

中止は2回。特に4月の宮城野原会場では、当日担当の2人の住む泉地区の雨の降りっぷりからすっかり気象予報を信じてしまい、天候の好転を読めずに中止し、当日、会場に見えた方々にご迷惑をおかけし改めてお詫びする次第です。

やはり、現地で、天候変化を慎重に判断して決定すべきであったと反省した次第でした。

では、今年も気軽に参加し元気でラリーを楽しみましょう！。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



七北田公園庭球場

◆ 第 21 回対いわき親善交流大会に思う ◆

和田 忠彦

19年度対「いわき」親善交流テニス大会は、「いわき簡易保養センター」を会場に11月17日～18日に開催され、当連盟からは、男子15名女子10名の25名、いわき側は、男子19名女子15名の34名計59名の参加者を得て、大きな盛り上がりを見せて終わりました。

この親善交流大会が21年前（昭和62年）、どんな発端から始まったのか、その詳しい事情を私は知りません。又、そのいきさつを知る会員も少なくなりつつある中で、地理的にも遠く離れた二つの地域のテニスグループが、かくも長年に渡り、毎年欠かす事なく親善交流大会を続けてきた事に、私は、当事者でありながら驚きを覚えながらも、その原動力は何なのかを考えてしまいます。

一口に21年とは言うものの、その年月を思う時、世相も人も、又双方（IVTC・MVTF）の組織のありようも変化してきました。

19年度親善交流大会開催に当たって、連絡調整を載っていた、IVTC代表の金成正太郎氏が、交流会を前にして、テニス練習中に体調を崩され急逝されました。改めて哀悼の意を捧げながらそんなアクシデントを抱えながらも、親善交流大会を開催戴いたIVTCの皆さんの親善交流大会に寄せる思いに考えをいたすのであります。

21年前に始まった親善交流大会、MVTFも当時は、「宮城県壮年テニス連盟」と呼称し、構成会員は、規約上男性45歳以上女性40歳でした。しかし現在、会員資格は、男性60歳以上女性55歳以上と改正されました。因みにIVTC・MVTFの交流大会参加者の平均年齢は、IVTCが当連盟より若いようであります。それが原因なのかもしれませんが、19年度の対戦成績は22勝42敗16分の大敗でした。

年齢の高齢化は、試合の結果ばかりでなく、往路3時間を越える長旅が、体調や体力的にも試合コンディションに影響を及ぼします。

かつて、飲酒行為に対する社会的厳しさが緩い



時、試合の合間にビールを飲むなどの元気と若さもありました。しかし、長旅と試合で体力を消耗したあとの夜の懇談会、更に2次会のありようは、お互いの健康と体力、明日の試合を考えた時、一考を要する時期に来ているように思います。テニスの原因で不健康や事故を招いては、何の為のテニスかという事にもなりかねません。

諸先輩の努力で築いてきた21回の親善テニス交流大会を、更に継続発展させるには、スポーツであるテニス本来の精神に思いをいたし、お互いに健康管理と安全、テニスを通じた楽しい人間関係づくりに意を配ることが大切ではないかと、自問自答している昨今であります。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 東北マスタース福島大会に参加して ◆

置田 眞樹子

10月10日、11日東北マスタース福島大会に参加して来ました。暖かい2日間でした。もう17日も続いているそうで、今年の岩手がデビュー戦の私達、会場の福島市庭球場へは大分ウロウロして…、でも無事到着！。岩手の方々は大型バスをチャーターして34人で参加しており、その中には、昨年盛岡の試合でお会いした方もチラホラ。開催県の福島は、男子56人、女子40人の参加で、宮城は男子18人、女子10人と前年より大幅減のさびしさでしたが、それでも各県の方々とは声を掛けたり、掛けられたりと東北マスタースに参加したおかげかしらとうれしくなりました。

成績の方は140歳男子の決勝が宮城同士となり、皆で楽しく観戦しました。女子は110歳が岩手、130歳は青森、140歳は福島が優勝しました。120歳女子に参加した私達は、無敗でリーグを抜けたものの準決勝であっさり終り、福島が1、2、3位を独占でした。

東北マスタースのお楽しみは何と言っても夜の部です。今回は土湯温泉に泊まり、原則テニスウェア着用というお達しで、宮城のきれいだころ？ はちょっと地味目でしたが…、アトラクションは、和太鼓、日舞、フラダンス有りと、今年、福島市は「市制施行100周年」だそうで舞台は賑やかでした。

東北マスタースは各県持ち回りだそうですからあと4県歩きたいと思っております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

らいでした。それだけでは平日運動不足になると
思い、最近では、朝のテレビ体操や、就寝前に柔軟
体操、トランポリンやスウィングステッパーでの
運動等、日中もできるだけ体を動かし、運動不足
を補っています。

生き物すべてに言えることですが、元気に活動
するには、しっかり食べ、しっかり眠り、しっか
り体を動かすことが必要です。食べることと、眠
ることは、簡単な事ですが、体を動かすことの少
ない人が多く、いろいろな病気やケガをしやすい
ように感じています。

マスターズ陸上の会長が言われる「健康である
ため」には、カゼをひかないこと、躓いてころば
ないこと、排泄を我慢しないこと、くよくよしな
いこと、常に頭を使うこと等に心がけ、よく動き
まわることだそうです。

以前、三浦プロスキーヤー親子3世代のスキー
滑走を、テレビで見たことがあります。スキーは
雪のある冬しか滑走できません。70歳になる三
浦プロは、日頃から体力をつけるため、30kg
の物を入れたリュックサックを背負って、長距離
を歩いていました。このように鍛えることにより、
ケガなく快適にスキーシーズンを楽しむことが
できるようです。

テニスにおいては、冬でも平地では雪が少なく
1年中できるスポーツです。私にとって、ケガを
しないで長くテニスを楽しむことが、一番の健康
法かと思えます。今年も多くの特大会に参加し、
いきいきとした生涯テニスを目指して、頑張り
たいと思えます。

これからも“みやぎいきいきテニス連盟”の
益々のご発展をお祈り致します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

混合ダブルス大会Cクラスに優勝して

石橋 りつ子

パートナーの海野さんからお誘い頂き、久しぶ
りの大会で躊躇しましたが「いつものように気軽
に楽しみましょう」の言葉に出場を決めました。

パートナーとはいつもクラブで対戦相手として
練習していましたが、ペアーとしては殆んど組ん
だことがありませんでした。ただ、パートナーの
鍛えられた足と粘り強さにはいつも感心してい
ましたので、当日はお互い信頼しながら試合に臨
むことが出来ました。

リーグ戦はいつもよりも丁寧さと粘りのテニ

スで何とかクリア出来ました。それでもCクラスの
出場の方々は優勝を狙っての試合なので気迫感
が表われ、いつもの練習の熱心さが窺える思
いがしました。

決勝トーナメントでは、当ブロック勝ち上がり
の2チームが、いずれも他のブロック勝ち上がり
チームを初戦で破りました。そのため、リーグ戦
で大変苦勞した相手と又対戦することになりま
した。こちらが一度勝った相手とはいえ油断は出
来ず、再びゲームは激戦でした。途中コートチェ
ンジの時自分の足に違和感があり、不安から集中
も欠け動きも鈍くなり、チャンスがありながら決
められず苦しい戦いにもなりました。その内両足
が攀ってしまい、パートナーにすっかり頼り「お
願い！お願い！」の連続となりました。これを落
とせば又コートチェンジしなければなりません。
足にも精神的にも絶体絶命でした。でもパート
ナーの粘りのストローク戦でマッチポイントのボ
レーチャンスが訪れました。その時は勝った喜び
より、これでやっと終わったという安堵感だけで
コートを離れました。

この大会で私は優勝の喜びよりも大きな大切
な宝物を頂きました。

足を攀った事により、パートナーのそのことに
対する気遣い、そして役員の方の心温まるお言葉
と適切な処置を頂いたこと、他にも仲間からもや
さしいお言葉等頂戴したことなど、感謝の気持ち
で一杯になりました。お陰様で忘れがたい素晴ら
しい大会の思い出とする事が出来ました。

私はこの日を境に今まで殆んど参加しなかつ
た Weekday 交歓会を身近に感じられ、心待ちす
るようになりました。

ワイングラスも昔？頂いたのを加えて今回で
3個になりました。このワイングラスは、前回の
技量別ダブルス大会で最後だったとか。又チャン
スがあれば大会にも参加出来たらと思っており
ます。まだまだテニス人生を頑張り、体に気をつ
けて楽しんで行きたいと思えます。

末長く皆様よろしくお願い致します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



第2回は7月13日、グリーンピア岩沼で参加者37名、梅雨空を気にしながらも、楽しい1日を過ごせました。

第3回は10月19日、やはりグリーンピア岩沼で、仙台16名、仙南14名の計30名の参加者を得て1日楽しく交流をはかることが出来ました。

これまでの交歓会は、関係者の全面的な御協力もあり、シニアテニスプレーヤーのニーズにも合い多数の参加もいただき、予想以上の結果だったと思います。

テニスの良さは釈迦に説法ですが、それぞれの技量に応じ、年齢相応に楽しめる生涯スポーツだということです。私も約40年、週1回ペースで続けて来たおかげで多くの友に恵まれ本当に良かったと思います。

高齢化が進む時代、ピンピンコロリ（PPK）と死ぬのが理想ですが、テニスを相応の歳まで元気に続け、コロリと死に、「あんなに元気だったのに惜しい人だったね。（お世辞でも）」と言われる様なPPKを目指したいものです。

今後の活動については、シニアプレーヤーの交歓の機会をもつことの必要性は大きいと考えますし、星さんと二人三脚で工夫を加えながら続けていきたいと思えます。又、みやぎいきいきテニスの広範囲な活動に参加される人達が増えることを希望しますが同時にビジターも気軽に楽しんで貰える様にもしていきたいと思えます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



◆ 県北ブロックの交流会について ◆

菊池 繁夫

昨年の9月13日みやぎいきいきテニス連盟と県北ブロック（主に石巻の愛好者）との交流試合を行い、今回で3回目となります。

交流会のそもそもの発端は、平成11年福井ねんりんピック大会に石巻より3名が出場することになり、練習を兼ね交流会をしましょうとの話

があり、石巻ローンテニスクラブでねんりんピック出場者とテニス連盟の方、そして石巻の愛好者の計15名の参加者で行いました。

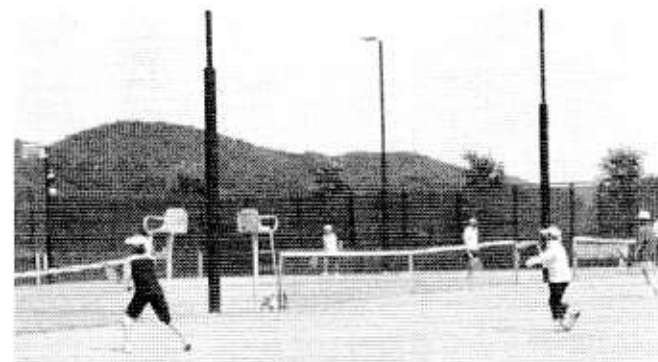
2回目は平成17年女川の町営テニスコートでいきいきテニス連盟より14名、県北13名（愛好者）計27名（内女性7名）の参加者で実施されました。

今回は石巻の北上十三浜のにっこりサンパークで行いました。石巻ではオムニコートが少なく前回の2回共ハードコートでした。にっこりサンパークは太平洋に面した高台で風光明媚のところて人工芝コート8面があります。いきいきテニス連盟より男子7名女子13名、県北男子7名女子7名、計34名の多くの参加者を得て男子ダブルス13試合女子ダブルス13試合、4ゲーム先取ノーアドで合計26試合行いました。

勝敗はいきいき連盟の18勝8敗でした。県北ブロックはテニス愛好者も少なく又技量も劣りますので勝敗は別としても善戦したと思えます。技能の向上にも得るものがおおいにありました。試合が予定より早く終わりましたので最後にミックス戦を1人1試合以上行い和やかに終了致しました。今回はとくに遠い仙台方面より予想以上の参加者で大変感謝しております。有難うございました。

今後の活動で、連盟の啓蒙と会員の獲得ですが、地理的な面で限定的と思われれます。県北全般に声をかけて多くの方が参加できる様な交流会を行なっていきたいと思えます。そして更にねんりんピックに多くの方が挑戦出来る様な体勢作りも必要と感じております。

高齢化が進みますます健康志向が高まっておりテニス愛好者が多くなり交流会が盛況に成るような夢をみております。



石巻にっこりサンパーク

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 新会員特集 ◆

「いきいき」に入会して

斉藤 次郎

昨年4月、機会に恵まれ入会させていただきました。そろそろテニス歴も25年程になろうとっていますが、振り返ってみると、まじめにやった覚えがありません。始めたばかりの頃はただボールを打つことだけがおもしろくホームラン競争ばかり。50歳ごろになってやっと団地内の人達と日曜毎にゲームを楽しみ始めたのですが、ストロークだけは何とか腕力に物を言わせて打てるようになったのはいいけれど、ダブルフォールのタイトルを何年も独占するという大波小波の難破船。タスケテ。

そして、60歳、定年。暇という山の中で昼寝を決め込み、だらけていましたが、さいわい、この会に拾われ、最初こそ脚力と腕力で「ちょろいものよ！」と試合を始めると…諸先輩方は、息も切らさず、抜いたはずのサイドに現れて、ヒョイ、ドロップもしっかり拾われ、ロブも軽々とたたかれ、予想は見事に覆され、ただもう参った！参った！首をうなだれるのみ。ゴメンナサイ。

負けが込むごとに向上心がムラムラと湧いてきました。まじめにやる気が出てきました！私は打たれ強いのです。きちっと課題を決め、目標を定め、この冬の間にあれとこれとそれとを…夜のまどろみの中で考えているのに、朝になるとそれをコロリと忘れ、天気予報のチェックです。いいぞ、今日も出来るぞ！舞い上がってしまうのです。また、楽しい人たちと会える。今日は何をしよう？どう打とう？ワクワク！！オールドパワーになんか負けていられるか！まだ若いんだから！

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

楽しいテニスをモットーに！

桜田 世津子

今期から仲間に入れて頂き、楽しいテニスが出来大変うれしく思っております。Week day交歓会と混合ダブルス大会、技量別ダブルス大会にも参加させて頂き、いずれもとてもし楽しい一日を過ごすことが出来ました。

皆さんのテニスの腕前には、とてもびっくりしました。年齢を感じさせない若々しい動きと巧妙なテクニック等々本当に驚きました。「どうなっ

てるの～」って感じでした。長年培ってきた経験から来る精神面の強さなども、遅ればせながら、これから少しずつその秘訣を身に着けていけたら良いな～と思っております。

テニス、上手じゃないけど楽しいので、健康のためにもこれからも長く続けて行けたらと思っております。そのためにも、楽しくそしてとても為になるWeek day交歓会の「ワンポイントレッスン」をこれからも受けて少しでも上手になりたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願致します。機会がありましたら、どうか遊んでやって下さい。



※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

いきいきテニス連盟に加入して

小谷 昭一

私がテニスを始めて、もうかれこれ40年以上になりました。中学校、高校と軟式テニス(今はソフトテニスと言うようですが)で、会社に入って硬式テニスを始めた訳ですが、腕の方は一向に上達せず今に至っています。若い時はそれでもしゃかりきになって練習したものでしたが、大学時代は遊びで忙しくテニスをやらなかったせいもあり、基礎をしっかりと身につけていない悲しさで上達は遅々としたものでした。それでも今までテニスが続けてこられたのは仲間にも恵まれたからだと思っています。最近ではつとめて親睦テニスを心がけている積りですが、やはり試合には勝ちたいもので欲張りなものです。

この度ブルドンテニス倶楽部で一緒の土生さんのお勧めもあり「みやぎいきいきテニス連盟」に加入させていただきました。

いきいきテニス連盟も昨年20周年を迎えられたとのことで随分歴史のある組織なのだなど感心しています。また会員数も200名以上の様で、この様な大所帯を切り回しておられる役員の皆様方のご尽力に敬意を表したいと思っております。

試合には混合ダブルス大会と技量別ダブルス大会に参加しましたが戦績は勝ち数と負け数が同じくらいで、まずまずと言ったところです。何よりも参加しておられる皆様方がテニスを愛し、楽しんでおられることが素晴らしいと思っております。

テニスは息長く楽しめるスポーツですし、また

仙台市は市営のテニスコートも比較的充実しており、気軽に・安くテニスを楽しめるところが良いですね。ラケットの改良も進み、テニスシューズやコートサーフェスもどんどん改良されているので、これからも体と相談しながらずっとテニスを続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお付き合いください。それと試合で対戦した時はお手柔らかにお願いします。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

生き生きデビュー！

庄子 和恵

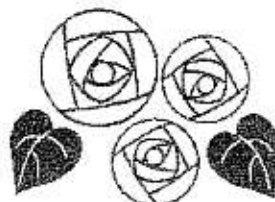
5月15日私の誕生日でした。この年になるとあまりめでたくもないのですが55歳を迎えました。夫にも忘れられていた誕生日ですが、役員をしている樋口さんが待ち望んでいてくれました。そして「いきいき」の入会を懇切、丁寧に説明してくれました。私はまだ入会はいいかなと思いましたが、樋口さんに根負けしました。キッツでテニスをしています、多くの仲間も入会しておりお世話になることにしました。

さっそく5月に年齢別の大会がありました。美村さんと出る事になり、その日が「いきいき」の私のデビューでした。入会を勧めてくれた樋口さんたちとも戦うことになり、試合前には「私たち

を0にしないで、お願い1ゲームだけでいいから頂戴」などと冗談を言って笑い合っていました。対戦したら4対4、スライスの中川さん、ネットにつめてボレー、スマッシュを決める樋口さん。思わず「負けちゃうかも…」頭をよぎりました。でもパワフルな美村さんと必至でがんばりようやく勝つことができました。その後の試合もどうか勝ち進み優勝出来ました。とても嬉しかったです。優勝カップ、ワイン、ワイングラスありがとうございました。

10月の技量別大会にも西城さんと組みAクラスで参加、お互いのミスもお互いカバーしあい、楽しく試合することができました。この大会でも優勝できました。

“いきいき”の1年の予定表が交歓会、大会、交流会などなど充実した計画がありとても感心しました。なかなか予定表どおり参加する事が出来ませんが楽しんでいきたいと思ひます。そしてたくさんさんのテニス仲間に出会い友達になれたらなと思ひます。



※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 平成19年度総会報告 ◆

副委員長 奈良 征一郎

昨年に続き、「シェルコムせんだい」で1月10日、「新春ダブルス大会」の昼食時間を利用し約50分間で開催しました。総会参加者93名委任状提出者63名 合計156名と多くの参加者で盛会でした。

中村委員長の挨拶に始まり、以下のように審議が行われ参加者の承認を頂きましたので報告いたします。各資料を熟読いただきご理解とご協力をお願いします。

資料の補足として、気づいたことを次のようにお知らせします。

審議① H19年度行事報告 土生競技部委員（佐々木(宏)委員の代理）より説明。
県南ブロック、県北ブロック活動が開始され、

各3回、1回のテニス交流会が実施された。

審議② H19年度決算 佐々木(正)会計委員より説明。白根会計監事の監査報告。

会員数は個人174名（昨年158名）家族86名（86名）と増加傾向。繰越金はほぼ前年どおり。

審議③ H20年度行事計画 土生委員より説明。3月発行の会報39号で確定する予定。

「シェルコムせんだい」の使用競合が激しくなっており、大会方式で実施するため参加希望者は締切日までのエントリーを確実にお願いしたい。

審議④ H20年度予算 佐々木(正)委員より説明。競技会収支で残高(18万円余)があるので、

Weekday 交歓会参加費の値下げを検討する。

年会費は、個人 2,000 円 家族 3,000 円。
また、会報同封の振込用紙を利用して住所その他変更がある場合は記入して下さい。

審議⑤ 運営委員選任

長年委員として活躍していただいた中村委員長をはじめ5名の方が退任、新しく6名の委員が候補として提案され承認されました。

和田 忠彦 新委員長より「役員全員の協力で会員のために努力いたします」とご挨拶があり、その他役割は運営委員会で検討することになりました。

総会終了後 “新春ダブルス大会” 午後の部を続行し、予定通り楽しく終了できました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 平成19年度行事実績 ◆

期日	行事名	会場	参加数
1/10	Weekday 交歓会	シェルコムせんたい	100
2/07	Weekday 交歓会	シェルコムせんたい	42
3/03	H18 混合ダブルス大会	シェルコムせんたい	78
4/16	Weekday 交歓会	宮城野原公園	雨中止
5/16	Weekday 交歓会	七北田公園	33
5/26	年輪別ダブルス大会	七北田公園	78
6/19	Weekday 交歓会	宮城野原公園	32
6/29	Weekday 交歓会	シェルコムせんたい	48
7/10	Weekday 交歓会	七北田公園	38
7/28	混合ダブルス大会	シェルコムせんたい	68
8/20	Weekday 交歓会	泉パークタウン	49
8/28	Weekday 交歓会	南インターTC	22
9/18	Weekday 交歓会	七北田公園	雨中止
10/11	Weekday 交歓会	宮城野原公園	13
10/20	技量別ダブルス大会	七北田公園	64
11/16	Weekday 交歓会	七北田公園	32
11/23	連盟祭り	七北田公園	95

関連の対外部門行事の実績

期日	行事名	会場	参加数
4/13	第1回県南B交流会	蔵王B&G	36
4/29	県テ・マスターズ春大会	シェルコムせんたい	41
7/13	第2回県南B交流会	グリーンピア岩沼	37
9/13	第1回県北B交流会	石巻にっこりサンパーク	34
10/10 11	東北マスターズ大会	福島市庭球場	28
10/19	第3回県南B交流会	グリーンピア岩沼	30
11/08	県テ・マスターズ秋大会	泉総合運動場	50
11/17 18	第21回いわき親善交流大会	いわき簡保センター	59

上表の諸行事のほか、仙台市高齢者生きがい健康祭りテニス大会、ねんりんピック、県テニス協会主催行事、東北テニス協会主催行事、日本テニス協会主催行事、日本シニアテニス大会 等に多くの会員諸氏が参加され、日頃の練習の成果を存分に発揮されました。



平成19年度 総会風景(シェルコムせんたい)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 平成20年度年間行事予定 ◆

開催日	行事名	会場	申込み締切日	コート数
4月16日(水)	Weekday 交歓会	宮城野原コート	自由参加	4面
5月12日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4面
5月31日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート	5月20日必着	8面
6月06日(金)	Weekday 交歓会	宮城野原コート	自由参加	4面
6月21日(土)	混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	6月12日必着	6面
7月08日(火)	Weekday 交歓会	南インターTC	自由参加	4面
7月16日(水)	夫婦ダブルス大会	シェルコムせんだい	7月8日必着	6面
8月18日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン TC	自由参加	4面
9月17日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4面
10月02日(木)	Weekday 交歓会	宮城野原コート	自由参加	4面
10月11日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート	10月1日必着	8面
11月01日(土)	連盟祭り大会	七北田公園コート	10月21日必着	8面
11月13日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4面
H21 1月09日(金)	新春ダブルス大会[総会]	シェルコムせんだい	1月2日必着	6面
2月10日(火)	室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	2月2日必着	6面
3月25日(水)	Weekday 交歓会	泉総合運動場コート	自由参加	4面

◇上表中、□枠太字で書かれた行事に参加する場合は、前もっての申し込みが必要です。

(詳細は16頁からの「諸行事の参加申込方法について」及び「大会要項」をご覧ください)

◇Weekday 交歓会は従来通り自由参加とし、時間は10時から5時までです。都合のよい時間にお誘い合わせの上ご参加して下さい。会場は、年間行事予定に示してある通り、5つの会場を使用します。今年度最後の3月は泉総合運動場コートになりますのでご注意ください。参加費は700円です。なお、試合方法は連盟の趣旨(会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める)を踏まえ、原則として試合毎にパートナーを変える方式で行いたいと思いますのでご協力お願いします。入会まもない方や会員に知り合いの少ない方、体力などに少々自信がなくて、知らない人との試合はどうも、と思っている方も、気を楽しんでもって参加して下さい。パートナーや対戦相手で不安でしたら、当日の担当役員(男性2、女性2)に申し出て下さい。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

シェルコム会場での大会は今年度から自由参加でなく、4大大会と同じように、全て“予め参加申込み”方式になります。

◇新春ダブルス大会(総会)の開催のご案内は封書にて間近になったらお送りいたします。ご協力お願いいたします。

上記の諸行事の他に、ねんりんピックに関連した下記の大会が開催されます。こちらの方にもご参加頂けますようご案内いたします。

開催日	行事名	会場	申込み締切日
4月27日(日)	宮城県テニスマスターズ春季大会	シェルコムせんだい	4月21日
10月5日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園コート	9月28日
11月29日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会	シェルコムせんだい	11月21日

宮城県マスターズ大会は、ねんりんピックの宮城県代表の選考会を兼ねており、いきがい健康祭は仙台市代表を選考する大会となっております。21年度のねんりんピック出場を希望する方(予選部門)は、男女とも、平成22年4月1日までに60歳になられる方から参加できます。大会案内は他の競技共々、8月号の「市政だより」に掲載されます。問い合わせ・申込みについては、担当の北畠 宏(291-8583)までお願いいたします。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

単独申込となります。パートナーはご一任下さい。

申込受付：1月15日～ 締切日：2月2日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

対いわきVTC親善交流大会要項

第22回親善交流大会、今年度は当連盟が担当となります。現在準備進行中ですが、判明している日程を中心にご案内いたします。日程調整のうえ奮ってご参加下さい。

期日：9月13日(土)、14日(日)

会場：グリーンピア岩沼(砂入り人工芝6面)

参加費：15,000円(宿泊、宴会、コート代含む) 予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

原則として、宿泊できる方に限らせていただきます。

参加申込者には、集合時間、解散時間等の詳細について後日ご連絡いたします。

申込受付：7月10日～ 締切日：8月10日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

東北マスターズテニス大会要項

第18回を数える東北マスターズ大会の詳細は、大会事務局より送付される開催要項待ちですが、現時点で判明している範囲内のご案内となります。

期日：10月7日(火)、8日(水)

会場：山形県総合運動公園テニスコート

(砂入り人工芝 屋外コート18面、屋内4面)

開催種目：女子：110+、120+、130+、140+、(150+)

男子：120+、130+、140+、150+、(160+)

男子80歳以上、女子75歳以上は単独申込み可。それぞれ3組以上で成立。

優勝ペアは3年間同一ペアでの参加は出来ません。

参加費：諸経費は昨年度並みの予定。

参加費3,000円、宿泊費12,000円(含懇親会費)

弁当代1,600～2,000円予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

申込者には詳細が判明次第ご連絡いたします。

宿泊場所：滝の湯ホテル(天童温泉)

申込受付：6月20日～ 締切日：7月20日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

宮城県テニスマスターズ春、秋大会要項

春季大会の結果は本年10月開催の「ねんりんピック鹿児島大会」、また、秋季大会の結果は来年10月開催の「ねんりんピック北海道大会」の選手選考資料となります。

「ねんりんピック」に出場を希望される会員は是非ご参加下さい。

県テニス協会への「個人登録料」は必要ありません

開催種目：女子：55歳+、60歳+、65歳+

男子：60歳+、65歳+、70歳+

年齢は「ねんりんピック」開催年の4月1日現在の満年齢です。いずれもダブルス6種目、ただし出場組が3組に満たない種目は実施されません。

参加費：1000円/人(当日納入)

参加申込：当連盟会員に限り、所定の「申込ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。県協会あての直接申込も可能です。

春季大会 期日：4月27日(日)9:00～

会場：シェルコムせんだい

申込締切：4月21日必着

秋季大会 期日：11月29日(土)9:00～

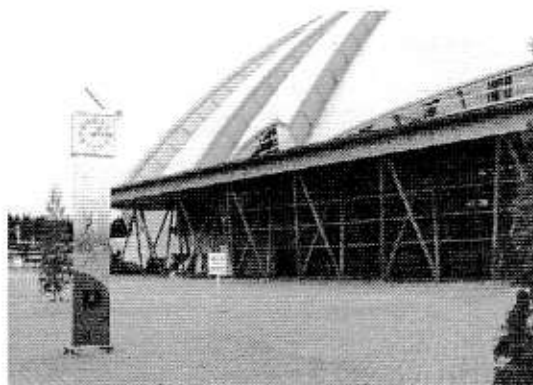
会場：シェルコムせんだい

申込締切：11月21日必着

申込み先：

他の詳細は県協会または連盟事務局まで問い合わせして下さい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



シェルコムせんだい

みやぎいきいきテニス連盟 規約

総 則

- 第1条 本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。
- 第2条 本会は次に掲げる正会員、特別会員および賛助会員を以て構成する。
- 正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。ただし、正会員が県外に転出した場合は本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- 特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- 賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体。
- 第3条 本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好をはかることを目的とする。
- 第4条 本会はその目的を果たすため次の活動を行う。
- (1) テニス大会
 - (2) テニス練習会
 - (3) 会報の発行
 - (4) その他、本会の趣旨に沿い運営委員会にて企画されたこと。

会 計

- 第5条 本会の事業年度は12月1日に始まり翌年の11月末日に終わる。
- 第6条 本会活動に必要な経費は正会員の納める年会費、大会、練習会等ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。
- 第7条 正会員は年会費を納めなければならない。ただし、特別会員はこれを免除される。年会費の総額は総会で定める。
- 第8条 運営委員会は年度末に翌年度における諸活動の実行計画およびそれに伴う予算案ならびに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。
- 第9条 当年度の予算案に提示されていない緊急臨時の費用については運営委員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。
- 第10条 会費の納入期限は毎年6月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

役員 および 役員会

- 第11条 本会の活動を組織的に実行するため次の役員をおく。
- 運営委員：本会の諸活動の具体的な企画およびその実行計画を策定実施するため、必要数の運営委員を置く。運営委員の任期は1年とし、前

年度の総会において選出する。再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を越えることはできない。

委員長および副委員長：運営委員の互選により委員長1名を選定する。副委員長は運営委員の中から1ないし2名を委員長が指名する。委員長は本会を代表するとともに、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。副委員長は委員長に事故あるとき委員長の役を代行する。

幹事：運営委員会が計画実行上必要と認めるときは業務に精通した若干名の幹事を委嘱することが出来る。幹事は運営委員会の議に加わり前年度の総会で委嘱された事項の実務を担当する。幹事の任期は1年とし、再任または重任を妨げない。

会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計委員の行う業務の監査を行う。任期は1年とし、再任または重任を妨げないが、引き続いて3年を越えることはできない。

第12条 本会の活動方針を協議し、実行計画を策定し、また会務を掌理するために次の役員会を開く。

運営委員会：運営委員および幹事で組織し、会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行い、かつ、会務を掌理する。

総会：役員を含む全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、運営委員会の提示する活動計画案、予算案および決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。また、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第13条 本会の事務を処理するために事務局を置く。

付 則

第14条 本規約に定める他、本会の諸活動の具体的な企画実施に必要な細則は運営委員会で定めるものとする。

第15条 本規約の改正は総会の議決による。

細 則

第16条 平成14年12月1日現在、60歳未満の男子会員および55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮し、運営委員会において検討を行い善処する。

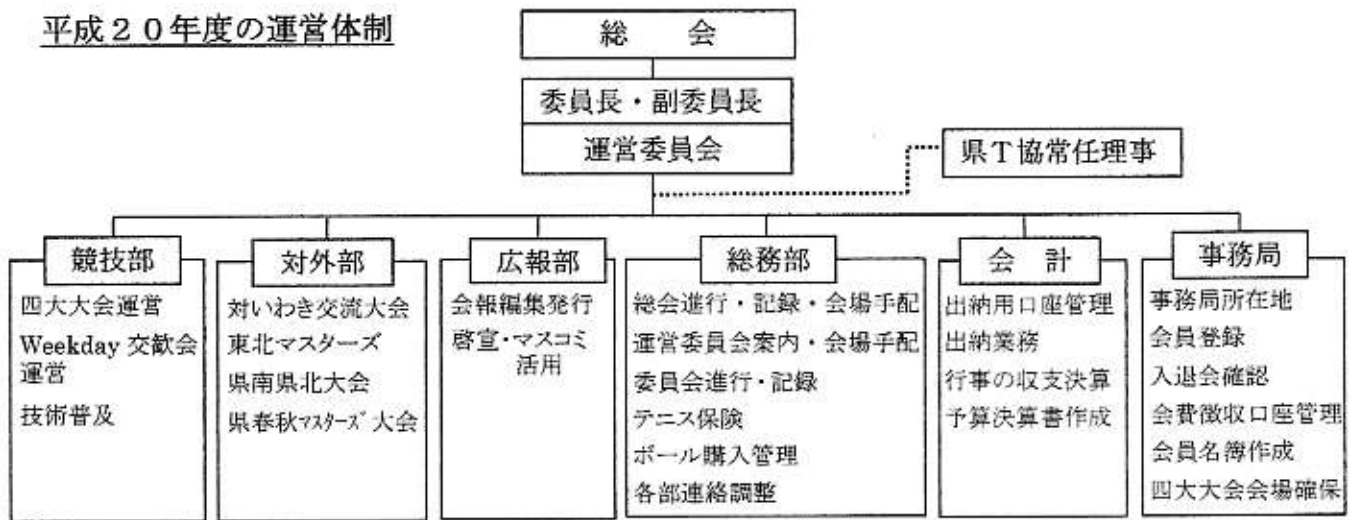
(平成8年3月26日改正)

(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)

平成20年度の運営体制



平成20年度役員と担当任務

委員長	和田 忠彦	全体統括			
副委員長	奈良 征一郎	総務主任・対外部			
	松山 眞水	対外部主任・競技・広報			
運営委員	青木 興一	県T協常任理事・競技	運営委員	佐々木 正敬	会計主任・競技・事務局
	佐々木 宏昭	競技主任・県テ協会		跡辺 清子	会計・競技
	大坂 俊明	競技W. D主任・広報		中村 行秀	広報主任・競技W. D
	八重樫 トモ	競技・事務局		布留川三枝子	広報・競技
	山崎 由美子	競技		鈴木 義昭	広報・競技
	小田島 正勝	競技		千葉 みちこ	総務・競技・広報
	斉藤 昭男	競技W. D		大谷 昌子	総務・競技
	新田 英明	競技			
	佐藤 勝子	競技			
	星 将博	対外部・競技	幹事	大賀 延行	事務局主任・競技
	色摩 浩三	対外部	会計監事	白根 晴男	
	菊地 繁雄	対外部		安田 勇	



編集後記

今年度の広報に快く寄稿して下さいました皆さん、本当にありがとうございました。

さて、当連盟も21年の伝統のうえに、今年度も10名の新しいメンバーを迎え、益々活気溢れるクラブに進化しています。そして、一人ひとりがそこから大きな元気を貰い、「いきいき」は更にパワーアップするという好循環が生まれているように思います。

ところで、私は初めて広報委員を担当させて頂き、今まで何気なく目を通していた広報が、如何に大変なものかということを知る良い機会になりました。

た。原稿依頼に始まり、幾度となく編集委員会を開き、その都度、より良い広報に仕上げるために真剣な検討を重ね、ようやく完成しました。その間の他の編集委員の皆さんのエネルギーには感動を覚えました。今年度の会報は如何でしょうか？是非全部読んで頂き、感想を聞かせて下さい。今後とも「いきいき」テニスを通じて、より深い絆が結ばれることを願いつつ、今は感謝の気持ちで一杯です。

(樋口美也子)

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟運営委員会事務局